

14 図書館および図書・電子媒体等

進捗状況報告

				単位	2004						備考
○施策の目標の達成度を測る指標											
指標1	図書館に対する満足度調査	公開	%	79.7	次回の利用実態調査は2008年10月予定。					(満足+やや満足)÷回答者	
指標2	図書館主催の講習会の認知度	公開	%	備考参照						学部生61.6、大学院生81.2	
指標3	相互利用制度の認知度	公開	%	備考参照						文献複写:学部生49.1、大学院生89.3 図書貸借:学部生90.2、大学院生87.5 直接利用:学部生45.9、大学院生85.0	
指標4	HPから提供しているオンラインデータベースの利用度	公開	%	備考参照						学部生33.3、大学院生73.7	
指標5	職員の対応に対する満足度調査	公開	%	備考参照						(満足+やや満足)÷回答者 貸出返却:学部生77.9、大学院生84.3 レファレンス:学部生79.8、大学院生91.3	
				単位	2004	2005	2006	2007	2008	備考	
○基礎的な状況を継続的に観測する指標											
指標6	図書館登録されている蔵書数	公開	冊	1,644,617	1,686,173	1,734,016	1,783,270	-	図書、定期刊物		
指標7	年間増加冊数	公開	冊	54,063	56,447	53,442	52,354	-	図書の受け入れ状況		
指標8	収容定員における座席数の割合	西宮上ヶ原	公開	%	-	12.5	11.7	11.3	11.2		
		神戸三田	公開	%	-	12.6	11.8	11.0	11.0		
指標9	学生一人あたりの貸し出し冊数	公開	冊	10.2	9.5	9.2	8.7	-			
指標10	図書館入館者数	西宮上ヶ原	公開	人	799,240	798,859	794,862	764,187	-		
		神戸三田	公開	人	273,509	272,628	310,361	301,916	-		
指標11	HP閲覧件数	公開	件	-	-	-	255,164	-			

図書館図書費予算については、予算のゼロシーリングが継続する中、外国語雑誌価格の高騰が図書館図書費全体を圧迫しており、本来は図書を購入する予算を削減して外国語雑誌を購入する予算に割り当てているのが現状である。

目標群の指標1～5については、2008年10月に利用実態調査を実施する予定であり、現在その準備中である。指標6と7については、すでに西宮上ヶ原キャンパス大学図書館の書庫は満杯状態であり、運営委員会で狭隘化の現状を報告するとともに、学長に対して書庫スペースの確保が早期に実現できるよう数次にわたって要望を行っている。年間に約5万冊増加しており、書庫スペースの確保が実現するまでの間、図書資料の一部を学外に預けざるを得ず、2008年4月から約5万冊の学外保管を開始した。

指標8については、司法研究科と経営戦略研究科が完成したため、座席数の割合が減少している。座席数が現状のままであれば、2010年開設予定の国際系学部の完成年度である2013年には西宮上ヶ原キャンパス図書館では、座席数が学生収容定員の10%は必要であるという大学基準協会の認証評価基準を下回る事が予測されるため、学長に現大学図書館の開館当初の座席数比率と同等の13%を最低限とする座席数を図書館内に確保することを要望している。また、神戸三田キャンパス大学図書館分室に関しては神戸三田キャンパス第3期整備計画が実施され、図書メディア館が移設される共用棟が建築中であり、2009年度からは図書収容力および座席数の充実が図られる予定である。

指標9と10については、入館者数、学生一人あたりの貸出冊数ともに2007年度6月の麻疹による全学休校措置の影響で大きく減少した。

指標11については、ホームページの情報検索に「横断検索」、「関西学院大学リポジトリ」等を、デジタルライブラリに「経済思想家の手稿と自筆書簡」を追加した。2008年度はホームページの全面的なリニューアルを予定している。

学内第三者評価

大きな制約の中で様々な工夫により蔵書の充実やデジタル化が進められていると認められる。蔵書スペースと必要な座席数の確保に関しては、大学図書館が本来持っている特徴を失うことなく、大学と法人との協力によって問題が解決されることが求められる。

また、パソコンの不足を解消するための無線LANの配備、ホームページのリニューアル、利用実態調査などが2008年度に予定されている。その結果を検証し、改善に向けた施策を推し進めていくことが望まれる。